

# 伊奈町新庁舎建設特別委員会

令和6年9月3日（火曜日）

1. 招集年月日

令和6年9月3日(火)

2. 場所

全員協議会室

3. 開会・閉会等時刻

◎開会 午後 2時28分

休憩 午後 3時20分

再開 午後 3時21分

休憩 午後 3時39分

再開 午後 3時40分

◎閉会 午後 3時40分

4. 出席委員名

委員長 上野尚徳

副委員長 青木久男

委員 富井篤弥、仲島雄大、木俣美千代、高橋まゆみ、栗原恵子、藤原  
義春、五味雅美

議長 佐藤弘一

5. 欠席委員氏名

なし

6. 職務のため出席した事務局職員の職・氏名

事務局長 森田範仁 局長補佐 沼田美由紀

7. 説明のため出席した者の職・氏名

町長 大島 清

副町長 秋葉 宏和

企画総務統括監 秋山雄一、都市建設統括監 中本雅博、教育次長 小林薫  
子、企画課長 澤田勝、企画課主幹 猪俣範綱、DX推進・新庁舎整備室長 瀬  
口悦史、DX推進・新庁舎整備室主幹 佐藤研吾

開会 午後 2時28分

○上野尚徳委員長 ただいまから新庁舎建設特別委員会を開会いたします。

本日、町民の方から本委員会を傍聴したい旨申出は今のところありません。伊奈町議会委員会条例第17条の規定に基づき、申出があった場合は許可したいと思います。ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 ご異議なしと認め、許可することに決定いたします。

それでは、議事に入ります。

初めに、進捗状況について執行部よりお願いいたします。

D X推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史 D X推進・新庁舎整備室長 それでは、次第に沿いましてというところだったんですけれども、先に、資料をお出ししましたので、そちらのご報告させていただきます。

早速ですが、資料の1、進捗状況につきましてご説明を申し上げます。

資料の(1)伊奈町新庁舎整備事業設計・施工一括発注に伴う公募型プロポーザルDB事業者選定のスケジュールでございますが、今回の内容ですが、現在の進捗状況の報告とさせていただきます。

前回の特別委員会では、5月30日の技術提案書等の提出意見までと、それからの予定の説明をさせていただきました。7月5日に技術対話、8月2日のプレゼンテーション、選定審査委員会を済まして、現在優先交渉権者と仮契約の交渉中でございます。

事業契約の締結の関係につきましては、8月2日の公開プレゼンテーション及び選定審査委員会の後、9月議会初日に議案を上程する予定だったのですが、8月2日の公開プレゼン及びその審査委員会の直後に町長、副町長が体調不良になってしまったことと、お盆期間を迎えてしまいましたので、優先交渉権者と町としての決定が8月22日となってしまいました。仮契約の交渉が延期となり、当初の議案提出期日に間に合わせることはできませんでしたので、申し訳ございませんでした。

現在、優先交渉権者と仮契約の交渉中であり、仮契約を締結次第、議案を追加で9月議会に提出させていただき予定でございますので、ご了承いただきたくお願い申し上げます。

仮契約を締結次第、9月の議会定例会、こちらのほうの追加で議案を上程し、議決を頂戴し、以降基本設計等へ事業を進めてまいる予定でございます。

進捗状況の報告は以上でございます。

[発言する人あり]

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 (1)の報告は以上でございます。

○上野尚徳委員長 ありがとうございます。

ただいまの進捗状況の報告についてご質問ありますか。よろしいですか。

[発言する人なし]

○上野尚徳委員長 発言がないので、進捗状況の質問は終わります。

次に、公開プレゼンテーション及び優先交渉権者の選定について、執行部よりお願いいたします。

DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 次に、資料の2ページをご覧ください。

(2)伊奈町新庁舎整備事業設計・施工一括発注に伴う公募型プロポーザル選定審査委員会の報告でございます。

去る6月17日に行われました第5回伊奈町新庁舎整備事業設計・施工一括発注に伴う公募型プロポーザル選定審査委員会では、2つの議題がございました。(1)技術提案書等に対する確認事項一覧について、(2)VE提案採否結果、こちらの暫定版についてを審議させていただきました。

続きまして、7月5日金曜日に行われました第6回におきましては、(1)技術対話、(2)プレゼンテーション・ヒアリングについて議事とさせていただき、技術対話につきましては、提案事業者を呼びまして、提出いただいた技術提案書について内容の確認等を実施いたしました。その後、プレゼンテーション・ヒアリングについての実施方法等を最終的に確認、決定をいたしました。

これらの会議を踏まえまして、資料では2ページ中段の公開プレゼンテーション及び優先交渉権者の選定に進ませさせていただくことになりました。

(2)の項目については、報告は以上になります。

○上野尚徳委員長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの報告についてご質問等はございませんか。

[発言する人あり]

○上野尚徳委員長 今プレゼンテーション。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 そのまま続けます。

○上野尚徳委員長 ごめんなさい。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 中段の2の2. 公開プレゼンテーション及び優先交渉権者の選定について、こちらのご報告を続けさせていただきます。

(1)公開プレゼンテーションでございますが、令和6年8月2日の金曜日13時から14時30分、会場につきましては伊奈町総合センター大ホール、提案事業者2グループでございました。

公開プレゼンテーションということで、傍聴人、こちらを募集させていただきましたが、当日は61名、事前申込みの方が27名、当日に34名の方がいらっしゃいました。議員と、職員、こちらの傍聴の部分についての人数は除いてあります。

次に、(2)優先交渉権者の選定でございますが、こちらにつきましては、公開プレゼンテーションの後に実施した非公開での選定審査委員会における審査の結果、優先交渉権者は、その下の表です。1、審査結果の表のとおり、プレゼンテーションを2番目に行った佐藤工業株式会社埼玉営業所、次点交渉権者につきましては、1番目にプレゼンテーションを行ったBグループと選定をいたしました。

次に、資料3ページ、優先交渉権者の構成でございますが、こちらの表のとおり、施工業務につきましては佐藤工業株式会社埼玉営業所、設計業務に関しましては株式会社佐藤総合計画、工事監理業務につきましては株式会社佐藤総合計画となっております。

次に、資料4ページ、評価点集計表でございます。技術評価点75点、地域貢献点5点、価格点20点の合計100点満点で、各事業者への各項目ごと、選定審査委員6名の平均点がこちらの評価点となっております。

技術評価点につきましては大きく1から8の項目で配点され、合計が、Bグループは44.05点、Cグループが54.60点でした。

地域貢献点につきましては、AとB2つの項目がございます。Aでは、町内に本店を有する建設事業者を含めた場合に1点付与するものでございます。地域貢献点Bにつきましては、見積書の工事費総額と町内事業者への下請発注予定額の割合に応じて付与され、Bグループは1.01、Cグループは3.25点、地域貢献点の合計につきましては、Bグループが2.01点、Cグループは3.25点でございました。

価格点につきましては20点満点で、こちらに最低見積もり金額との割合を掛けたものを付与させていただいておりますが、両グループに差はなく、20点ずつとなっております。

3つの評価項目を合わせた合計は、Bグループ66.06、Cグループ77.85点となりました。なお、伊奈町役場新庁舎整備事業における優先交渉権者選定に係る今プロポーザルにつき

ましては、審査結果及び審査講評を審査結果報告書としてホームページに8月29日に公表させていただきます。

また、参考資料でございますが、今回優先交渉権者のCグループ、佐藤工業株式会社、株式会社佐藤総合計画の提案、こちらの3点つけさせていただきますが、提案外観パース図、提案配置図、議会エリア提案平面図の3点でございます。参考資料の説明はここでは割愛させていただきますが、こちらはあくまで現時点での事業者からの提案となっております。今後、契約後設計業務の中で町と事業者とで協議をしまして、議員の皆様にご意見いただき、設計をつくり上げていくものとなります。

事務局からの今委員会の報告は以上でございます。

○上野尚徳委員長 ありがとうございます。

ただいまの報告についてご質問等ございませんでしょうか。

富井委員。

○富井篤弥委員 伺いたいこととしまして、公開プレゼンテーションのときにBグループ、Cグループとあったと思うんですけれども、ここから推察するにAグループもあったかと思うんですけれども、この公開プレゼンテーションの前に辞退された事業者はどのくらいいらっしゃるのでしょうか、伺います。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 プレゼンテーションの前に辞退をした事業者については1事業者になります。

○上野尚徳委員長 富井委員。

○富井篤弥委員 その辞退された理由とかも伺っておりますでしょうか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 その辞退された理由としては、金額の部分で、自分たちの設計の結果折り合いがつかない。金額の上限を超えてしまうような形になってしまったということで、その調整が会社ではできないということで辞退と伺っております。

○上野尚徳委員長 富井委員。

○富井篤弥委員 ありがとうございます。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

五味委員。

○五味雅美委員 優先交渉権者という言葉が出てくるんですけれども、これBグループが次点

になるわけですから、これひっくり返る可能性というのはどういう場合にあり得るんですか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 基本的に、今契約の交渉というのをやっているんですが、不測の事態、例えば会社の経営状況とか、そういった部分がない限りは基本的には優先交渉権者が契約者になる、ほとんどそういうことになるかとは思いますが。

○上野尚徳委員長 五味委員。

○五味雅美委員 要は先方都合になるんですかね。実質工事をできなくなったというようなことということぐらいですかね。分かりました。

○上野尚徳委員長 藤原委員。

○藤原義春委員 教えてもらえればの話なんですけれども、この評価点の技術評価点でBグループとCグループでこれほど差がついたのは、ざっとまとめるとどうい……。ここに項目は書いてあるんですけれども、こういう点で差がつかましたというようなことは話せる範囲内でおっしゃっていただけるとありがたいのですが。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 こちらなんですけれども、報告書、ホームページに審査結果報告書というのまとめさせていただいているところではございますが、総合公表の部分で読み上げさせていただきますと、各グループの提案は、いずれも本事業の目的を理解し、伊奈町らしさを提案に昇華したものであった。同時に、品質、コスト、スケジュールのバランスを実現させるため、多くの検討と労力を重ねてきたことが読み取れる提案であり、設計・施工一括発注を踏まえ、各グループの強みが活かされた提案がなされました。また、設計事務所と建設会社による協業や女性技術者の関わりなど、多様な視点、ノウハウを活用する工夫が見られた部分でございます。最終的な結果としましては、価格点は2グループ差がなかったという部分ですが、技術評価点の部分で大きく差が出たというところにはなっています。

評価のところのコメントですけれども、優先交渉権者のCグループで、委員に主に挙げていただいた評価のポイントなんですけれども、庁舎機能と図書館機能の融合に積極的に取り組み、本事業の目的に合致した計画が評価された。図書館との複合化について、各施設の利便性だけでなく、子供たちにとっても居心地のよい空間を実現することで次世代につなげる視点、空間が高く評価されたとか、あと、子育て・子育ての視点からも関係する各企業の配置計画等が十分に検討されており、にぎわいと静かな空間を効果的につなぐ計画が評価され

たというような部分がございます、そういったところが差になっているのかなと思われ  
ます。

○上野尚徳委員長 藤原委員。

○藤原義春委員 自分としては、このパースありますよね。このパースでやはり、これを見る  
とやはり図書館との融合性をかなり考えた機能的な建物だなと感じたりもするんですけれど  
も、そういった部分もあったということね。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 Bグループとの差ということになると、Bグループに  
つきましては、図書館と執務スペースは完全に基本的には分断されていたという部分になっ  
ています。こちらのCグループのものにつきましては、あえて2階に配置するというので、  
入っていただいて2階に誘導するんですけれども、1階のフロア、そちらからまた誘導する  
みたいな部分もあります。図書館に来ただけけれども、役場にも寄れるとかというような、  
そういう空間づくりというんですかね、そちらが特に高く評価されたような委員の意見をい  
ただいております。

○上野尚徳委員長 藤原委員。

○藤原義春委員 ありがとうございます。ある程度分かりました。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

栗原委員。

○栗原恵子委員 3ページの2番、優先交渉権者の構成についてお伺いしたいんですが、施工  
業務、佐藤工業株式会社埼玉営業所となっております。そして、設計業務は株式会社佐藤総  
合計画となっております。これ同じ佐藤なんですけれども、何か特別関係があるんでしょ  
うか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 同じ佐藤ではございますが、提携関係等は特にな  
いよ  
うで、会社自体はですけれども。一緒に組んでやられているのは伊奈町以外にもあるよ  
うな  
んですが、基本的に会社のグループ関係とか、そういったものではないものです。

○上野尚徳委員長 栗原委員。

○栗原恵子委員 たまたま名字が一緒ということで理解しました。ありがとうございます。

○上野尚徳委員長 ほかにありませんか。

五味委員。



○五味雅美委員 ただいまの話ですが、私てっきりグループ企業かと思ったんですけれども、そうしますと、デザインビルドの一带を進めるということでの心配はないということですか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 先ほども申し上げましたが、施工と設計のこの2社で、既に富山県の射水市役所か何かが多分恐らくそういう形で実績もございますので、そういった面では心配はこちらではしていないということになります。

○上野尚徳委員長 五味委員。

○五味雅美委員 ちなみに、佐藤工業株式会社というのはゼネコンの中で、いろいろと得意分野がそれぞれあると思うんですけれども、こういう庁舎関係というのは手がけているんですか。そのデータとか分かりますか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 では、両者の実例というか実績の部分なんですけれども、佐藤工業株式会社、こちらにつきましては、同じような官公庁の実績といたしまして、先ほど申し上げました富山県の射水市役所の新庁舎、富山県の富山中央警察署、あと長野県立武道館であるとか富山県の砺波市の砺波図書館、そういったものとかを施工されています。対して設計の株式会社佐藤総合計画につきましては、深谷市の新庁舎、こちらの基本設計実績ですね。あと、志木市の新庁舎、こちらの設計もやっております、あと埼玉県内でウェスタ川越、川越市内の埼玉県の合同庁舎ですね。そちらの建物の設計も株式会社佐藤総合計画は実績としてございます。

以上です。

○上野尚徳委員長 五味委員。

○五味雅美委員 今の埼玉県のと3か所は、これは建築は別会社ですか。別の会社ですか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 先ほど株式会社佐藤総合計画の設計の部分につきましては、全て今回の佐藤工業株式会社ではなく別の事業者が施工しております。

○上野尚徳委員長 大丈夫ですか。

ほかにありますか。

高橋委員。

○高橋まゆみ委員 公開プレゼンテーションのときに、役場の意見として2階に図書館があるのはどうかというようなご意見が聞かれたんですけれども、そのあたりについてどうお考え

为什么呢。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 審査した委員のご意見ということなのか、それとも我々使う側の意見ということで、どちらが。

○上野尚徳委員長 高橋委員。

○高橋まゆみ委員 私の記憶が確かだと、副町長か誰かがおっしゃっていたと思うんですね。なので、そのあたり、使う側というか、DX推進・新庁舎整備側としてはどのように今現時点でお考えか、お聞きしたいと思います。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 委員が心配した部分というのは、多分1階が窓口フロアです。2階図書館、3階がまた執務、我々の職員の執務スペース。お客さんも当然いらっしゃるんですけども、そういうことで、役場の業務が2階で分断されちゃうということを1つ心配としてあったと思うんですけども、そのとき実際のプレゼンテーションで質問したという部分の趣旨としては、恐らく1階に図書館を持ってきて、2、3、4階の連続性というのも可能性としてできるのかというのを事業者側に確認したかったという部分だと思うんですが、事業者側としては多分提案は、図書館は2階にあったものが、1階と2階の融合というんですかね。図書館の複合化という部分で最も効果的だと考えているようなので、1階と3階に分断されるという部分につきましては、ほかの例えば埼玉県内だと大宮区役所が、ちょうど1階窓口があって、2階、3階図書館、4階以降が行政スペースというような実例もございますので、そういった部分では例えば2階で分断されたとしてもそれは運用上の話だと思いますので、まずは住民の方がどういうのを望まれているとか、そういった部分は今後ワークショップとかでも出てくると思うんですけども、今、事業者の提案を中心に、これから検討し、設計を進めていきたいと考えているところでございます。

○上野尚徳委員長 高橋委員。

○高橋まゆみ委員 ありがとうございます。なるべく変えないように、プロに任せるのがいいのかな。それがスムーズに進むというか、早くできるかなと思っていましたので、少し安心しました。ありがとうございました。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

青木副委員長。

○青木久男副委員長 お願いします。

私も会場でプレゼンテーションを拝聴させていただきました。どちらも一生懸命プレゼンテーションをやっているなということとどっちもいい印象だったわけで、両方採りたいと思うんですけども、そうもいかないということで。

それで、話というか、この計画によりますと、8月2日の当日に第7回の選定委員会が開かれて決定するというようなことを伺っていました。先ほど伺いましたけれども、正副町長が体調が悪いということで遅くなったということですけども、公表になったのが29日とさっき伺いました。違いますか。22日ですね。22日と伺いました。体調が悪いとかということかなければいつ頃公表する予定だったですか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 当初の予定ですと、2日の金曜日に選定委員会やって、優先交渉権者がその中で決まりまして選定されまして、翌6日の火曜日ぐらい、5日に事務の手續ございますので、6日の当初予定で公表させていただいて、その後すぐ優先交渉権者と契約交渉に入りまして、9月の当初の議案として出させていただくような形でスケジュールは組んでいたところなんですけど、事情がございまして、通常の審議に間に合わなくて大変申し訳ないという部分でございます。

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 町のいわゆる学者であるとか学識経験者の委員のほかに、町から2人ですか、参加させてもらった委員会かなと思っております。町長の意向などはそこで十分反映する機会というのはあったんでしょうか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 こちらのデザインビルドのこういう設計・施工一括発注ということで、非常に専門性が高い事業者選定になってくるという部分がございます、そういった部分で過去の実績、いろんなところの庁舎であるとか、そういった部分の発注とかに携わっていただいた学者の先生方をお呼びして高度な判断をしていただくという部分で、4人の専門員というか、外部の方をお呼びして、あと町内の意見という部分で内部の委員2人という部分でこちら、町長が要綱をつくりまして、選定委員会を町長が委嘱した形で行っておりますので、各会議の進捗状況とか、そちらにつきましては毎回町長には報告、相談させていただいて報告してという流れをやっておりましたので、その辺につきましてはいろいろ共有した形で選定は進めていたということになります。

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 何か補足があるのかなと待っていた。

○上野尚徳委員長 企画総務統括監。

○秋山雄一企画総務統括監 私委員の1人なので大変申し上げにくいところもあるんですが、町長の思い等々については、一番最初に業者に示した要求水準書があったかと思います。その中に町長に意見を聞いたりして、その後、最終的な決定はこの委員会になりますので、町長が言っても委員会が駄目だったら駄目になりますけれども、その段階で町長には思いは聞きました。そこに町長のテイストを盛り込んで、委員会でも全部が全部というわけではなかったかも分かりませんが、認められて、その上でまず仕様書的な要求水準書を出したということになります。

それと、委員の中に私たち2人、私と副町長が入っているという意味は、町長の思いという意味よりは役所を使う側の身としての意見を言うという意味です。大学の先生方はあくまで建築の専門家での意見、私たちは現場を使っている者の意見として委員として選出されていますので、そういった部分で採点をつけたり選定方法を決めていったりということになっています。ですから、委員ご案内の思いというか、そういう部分というのは、一番分かりやすいのは要求水準書の中ということになろうかということになります。

以上でございます。

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 私が聞いたのはそういうことなんですけれども、最終決定権者は町長なんです。そうでなければ、8月2日に決定したらもう翌日に公表しちゃえばいいわけで、それが無いということは、少し町長レベルでも、あるいは皆さん方で何か検討する余裕が欲しかったかなというようなことがあったのかどうか伺いたいです。そういう町の強い町長の意向が入る余地が、ワンマン町長ではないですからそういうことないと思いますけれども、幾らかあったのか、ないのか伺います。

○上野尚徳委員長 企画総務統括監。

○秋山雄一企画総務統括監 先ほど室長からも申し上げましたが、正直、町長、副町長が2人ともコロナということで、今の時代ですから、リモートなんかでもお話はできますよね。そんなことを実は私たちも試みましたが、ですけれども、かなりせきとかが激しくて、長い時間話すとかが、こういう重要案件ですので、リモートで口で話して、はいどうぞというわけにはなかなかいかないものですので、大まかに説明はしたんですが、明らかに2人とも体調がよろしくなかったです。最終的な意思決定というのはやはり決裁に印鑑を押していただくとい

う行為になります。その後、体調が治ってきたら、期間的にお盆になってしまいまして、お盆明けて改めて私どもで再度この点数の仕組み、点数の結果、こういったことであるということをお2人に説明をして、しっかり決裁に押印いただいたのが日数を要してしまったということです。本当に手続上物理的に期間がかかってしまったということでご説明をさせていただきたいと思います。

以上でございます。

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 本当に物理的な要因であるということで、何かほかの考えが入ったとかということではないということで了解しました。

それで、もう一つ、佐藤工業株式会社の先ほど話ありましたが、佐藤工業株式会社ってどこなのよって調べましたらあちこちにあるんですよ。私若いとき、学生の頃は広島県に大きなゼネコンがあったような気がするんですけども、それかなと思ったら何かそうでもなさそうで、福島県にもありますし、富山県にもある。恐らく大きな会社大小入れれば、佐藤工業株式会社と、この同じ字は10や20あるかなと私は思うんですよ。こういうところに書くのに何か特定するような括弧書きか何かあったら私は親切だなと思うんですけども、括弧本社富山市とか富山県とか、あるいは福島市とかね、これを入れたらすぐ分かるんですけども、そういうことは必要ないんですか。不要なんですか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 委員おっしゃるとおり、佐藤工業株式会社をネットで検索すると、結構上で福島県、そこそこの規模の建設会社とかも出てきたりという部分もありますし、佐藤という自体がやはり日本でも有数の名字というか、そういう部分になっていますので、会社の屋号なので、勝手にこちらでそれ自体を変えるというのがなかなか難しいかなと思ったので、こういう形の表記とさせていただいた。住所を特定するために住所もつけさせていただいているという部分ではありますが、何か1つ分かるようなものがあればというのは検討させてもらえればと思いますので、どれが一番皆さんに伝わりやすいものなのかという部分も含めて検討させていただければと思います。

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 本社括弧何々市、あるいは何々県ではあれですけども、一言書くって、これは称号とは何の関係もないことだと思うので、あしたから入れてもいいかなと思うんですね。

そもそも、その本社はどこにある会社なんですか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 こちらの資料でお渡しているのは、あくまで契約部分は埼玉営業所となっていますが、本社につきましては東京都中央区日本橋本町4-12-19となっております。

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 それだけではまだ分からないんですけども、先ほど話がある富山市の発祥の会社という理解でいいんですか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 会社の沿革で見ますと、江戸時代ですかね、文久2年というので。そこで越中の国、柳瀬村、現在の富山県砺波市がもともと発祥の地ということで、工事を請け負っている数も現在射水市役所とか富山県の工場をやっている件数も相当ありますので、もともとはそちらの出ということになります。

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 分かりました。

お見せいただいた集計表なんですけれども、BとC、AがなくなってB、C、それでBがプレゼンで2番目でCが3番目という、A、B、Cだからよく今になってみれば分かるんですけども、最初20日に公表されたとき、何が何だか、どっちがどっちなんだか分からなかったんですけどもね。

ここで技術評価点というの10点ほど差があるんですけども、私たちにはそこら辺は専門的過ぎてよく分かりにくいかなと思うんですけども、このDB計画で、提案書等でああ、これはいいことだなというのは、地域貢献者というものを単なる言葉だけでなく、地域事業所を使ってくださいねというのではなくて、ペナルティーつき、もしそれに応じなかったら何点何点、幾ら幾らのペナルティーを取りますよというようなのはすごくいいことだなと思っております。

それで、ここの地域貢献のところ、C、先ほどの佐藤工業株式会社とBでは随分差が、金額ですよ。があるんですね。それで、町内調達金額があつて、それで、その次の次ですか。次ですね。町内事業者への発注提案金額、これが差があるんですけども、その下の提案工事費というのがほとんど同じ。もう絵に描いたように、50万円違うけれども、51億円とか何とかという中の50万円ですからほとんど同じかな。ここのところの同じになったのはどうい

うわけなのか伺いたいんですけれども、ほとんど同じだ。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 提案工事費に差がほとんどないという部分なんですけれども、こちらの要求水準というか、募集の関係で上限額の設定をさせていただいておりました。そちらにほぼほとんど近い数字で両者とも出てきておりますので、両者ともその上限額に合わせるためにどうやって提案してきたかという、そこからなのかなと思っておりますので、結果金額的にはほぼ差がなかったのかな。金額ありきでという言い方もおかしいんですけれども、上限額がありましたので、そちらに向けての提案いただいた内容もそういう部分になったのかなと考えております。

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 それは分かりました。

町内調達金額ですね、これが相当な差があるんですけれども、私これ見ただけで、もうほかを見なくてもCを勧めたいと。委員の中にもそういう方はおられたのかと思うんですけれども、ここは、この2社やはり町内事業者を使ってというような考え方に濃淡があり過ぎたのかな。だからこういう結果になっているのかなと思うんですけれども、次点になったBのところは、案外そういう点では素っ気なかったんでしょうか。内容を伺います。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 Bのグループにつきましては、地域貢献点、Aで1点入っている。要するに、これはJVですね。町内事業者と組んだ形で提案をしてきたということで、直接下請に出した金額というのがBグループですと1億7,000万円、Cグループですと6億4,000万円という差があるわけなんですけれども、こちらの配点につきましては既に公表していたものになっていますので、それを見て事業者がある程度、戦略という言い方か、得点を取りに行ったのか、実際事業者を伊奈町にお金を回すという意味合いで金額を入れてきてくれているわけなんですけれども、その部分で考え方の差が両者であったのかなと。その結果がこの数字に出ているのではないのかなと考えます。

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 考えてみれば、地元を優先しますよといういわゆる意気込みというか、そういうものがやはり採点する側にとっては影響してくるのではないかなと。そうすると、結構少なかった金額というのはもう少し貢献しておけばよかったのかなということになるのか分かりませんが、Bの次点はともかくとして、優先交渉権を得たCの金額も相当な

金額なんですね。数えてみますと、6億4,000万円ほど町内事業者を使うと。いろんな業者があります。また、工事もいろいろあると思うんですね。建屋だけでなく、いわゆる側溝とか、あるいは外壁だとかいろんなものがあるんですけども、これって具体的にどういう業者を使うということまでこの時点で提出させ、そうしなければ意味がないんですけども、提出させてあるのかどうか、差し支えなければ何社ぐらいでということでお伺いできればと思います。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 事業者側から頂いていた提案書の中に、こちらの地域貢献の部分の発注金額の算定という部分の中に表を頂いておりまして、その中に下請として出す工事の種類と、あと物品購入とか、伊奈町でお金を使う、例えば何か工事現場で何か日用品を買うのも伊奈町で買いますよというような部分についても一応こちらでリストとして頂いておりますので、そういった部分では絵に描いた餅ということではなくて、しっかり事業としてこれだけ伊奈町の事業者が発注する予定ですよというもので頂いておりますので、その辺はしっかり履行されるような形で検証させていただく予定でございます。

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 町内の業者を使うという、今の話ですとした物品、あるいは弁当だとか、そういうようなものももちろん入っているんですけども、金額が6億4,000万円というんですから、それがメインではないと思うんですね。具体的に何社かということも受けていると思うので、固有名詞は結構ですけども、そこら辺この委員会を出していただければありがたいんです。ただ町内業者を優先してくれるんだってよというだけでは、この段階では少し理解し難いということです。何社で、6億4,000万円というのは相当な金額で、弁当や文房具だけではないと思いますのでね。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 工事とそのほか物品購入の部分ですが、工事等では14事業を挙げていただいています。大きなものとしましては、別棟の工事、本体ではなくて別の倉庫兼会議室みたいなのを1つ造るんですけども、そちらの工事を下請に出すということで、こちらが1億3,000万円ぐらいですかね。そういった部分では金額が1つとして出ていますけれども、あと、日用品であるとか作業着のクリーニング、あと職員宿舎、事務用品、そういったものを伊奈町の事業者で調達するなり、そちらのサービスを利用するということでご提案をいただいております。事業者の数としては大体30事業者ぐらい頂いておりまして、



こちらの事業者からは地域貢献関心表明書ということで、事業者側からこういう事業に参加させさせてくださいというようなものを一筆お手紙というか文章で頂いておりました、社判つきのものになっていますので、そういった部分では、今回の佐藤工業株式会社が勝手に書いたものではないという部分では事務局としても確認が取れているものでございます。

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 B社、C社とあったわけですがけれども、佐藤工業株式会社が、その優先権者が下請の町内の事業者とこれから契約していくというのが筋なわけですがけれども、委員会に町内事業者が声をかけていただければ本当にありがたいです、よろしくって、そういうものが来ているということなんですか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 Cグループ、佐藤工業株式会社がこういう事業、庁舎の建て替え事業をやります、やる予定ですという中で、町内事業者に私たちやるんですけども、皆さんどうですかという形で、佐藤工業株式会社と町内事業者との間の文章を事務局に出してもらったというような部分になっていますので、あくまで事業者間のお約束になっています。

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 分かりました。そういうことだと思います。

それで、チェックです。最終的なチェックですがけれども、どのようなペナルティーが用意されているのか、もう一度お願いいたします。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 そちらのいわゆるペナルティー、不履行に関する部分につきましては優先交渉権者選定基準の中にありまして、地域貢献点に対する不履行ということで、地域貢献点において受注者から提案された町内事業者への発注提案金額について、受注者の責に帰すべき理由によりその金額を満足できない場合は、下記の算定式に基づく金額を受注者から徴収するということになっていまして、そちらの算定式ですが、受注者から徴収する金額は、未達成金額、こちらの税込みの未達成金額の50%、足りなかった分の50%分をペナルティーという形で頂くというようなルールづけはさせていただいております。

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 少し聞き慣れない言葉で、見立て分というのは、これは今皆さんのところでこれから契約に入ったときに、その見立て分というのは明らかに幾ら幾らというのが分

かるんですか。その20%ですから、元が分からないと幾らなんだか分かりません。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 先ほどの評価点集計表をご覧くださいと、例えばCグループですと町内調達金額が6億4,005万円となっておりますので、これ税抜きですけれども、こちらの金額が上限というか、そこに足らなかった部分の50%になりますので、そちらを頂くという約束事になっております。

○青木久男副委員長 今のでよく分かりました。ありがとうございます。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

五味委員。

○五味雅美委員 この51億3,450万円、この数字というのは建築費用で、設計費用も入っているんですか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 こちらは工事費になりますので、設計の金額ではありません。

○上野尚徳委員長 五味委員。

○五味雅美委員 そうすると純粹に建物の費用という考えですか。

〔「ちょっとすみません」と言う人あり〕

○上野尚徳委員長 暫時休憩します。

休憩 午後 3時20分

再開 午後 3時21分

○上野尚徳委員長 休憩を解いて会議を再開いたします。

DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 こちらにつきましては、先ほどお話ししましたとおり、地域貢献点に係る不履行の部分となっております。地域貢献点のこちらのBにつきましては工事費総額なので、設計費については入っていないということで確認いたしました。

○上野尚徳委員長 五味委員。

○五味雅美委員 そうすると、この51億3,450万円という数字は、純粹に建物の建築費用だけ

ということですね。工事費ですね。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 工事費なので、様々な工事が本体工事のほかにもあるんですけども、工事、外構であるとか、そういった工事も含めたいいわゆる工事費の総額ということになります。

○上野尚徳委員長 五味委員。

○五味雅美委員 そうすると、今回デザインビルドで一体契約になるとは思いますけれども、そのデザインの設計部分については入っていないということですか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 設計額は、金額は入っていない。工事の下請に出すという意味合いで地域貢献点の部分の対象になっていますので、そうすると、設計を町内事業者に還流するという事はなかなか難しい。そういう部分の考え方で、工事費という部分についての地域貢献点の母数というんですか、そういう形……。

○上野尚徳委員長 五味委員。

○五味雅美委員 少し私勘違いかもしれませんが。要は、地域貢献度を出すための、その分母になる部分が51億3,450万円だということで、これが契約金額というわけではないわけですね。この契約金額は今出ていないわけですね。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 契約金額につきましては、現在価格交渉も含めて協議中でございます。

○五味雅美委員 分かりました。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。

栗原委員。

○栗原恵子委員 最初に、事業費のところを先にお聞きしたいんですが、以前説明があった2023年のときに概算で60億9,500万円という数字まで引き下がって、建築費が51億5,500万円だったと思うんですね。仮契約これからなるというお話もあったかと思うんですが、実際のその契約金額というのは契約値になるのでしょうか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 価格交渉を踏まえまして、これから仮契約を結ばせていただくんですが、そちらの金額がまず1つ。そちらの金額が契約金額という形で、議会の

議決を経まして本契約となりますけれども、そういった形になります。

○上野尚徳委員長 栗原委員。

○栗原恵子委員 ということは、概算で出ていた最初の60億9,500万円からの変動がかなり出る可能性もあるということですね。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 今交渉中ではありますが、大きく下がるとかそういうことはいろいろ話しているんですが、なかなか難しいという状況ではございます。

○上野尚徳委員長 栗原委員。

○栗原恵子委員 ありがとうございます。

そして、あと佐藤工業株式会社なんですけれども、まだ、先ほど富山県の会社だということが分かったんですが、最近ではいろいろな会社何がいつどこでどうなるかというのが分からない時代にもなっていて、仮にこの会社が、佐藤工業株式会社だけではなくほかの会社も潰れることはなきにしもあらずなんです、そのときの保証というのはどうなっているのでしょうか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 契約時に契約保証金という形で頂戴いたしまして、そういう事業不履行に、不測の事態になっちゃった場合のそういう部分ではその保険で担保しているという形になります。

○上野尚徳委員長 栗原委員。

○栗原恵子委員 万が一のこと、最悪な事態を考えて言っているわけですが、そうした場合保険で対応するという事なんなんです、その場合どこがその工事を引き受けることになるのでしょうか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 要するに、次の、例えば途中でその会社がなくなってしまって、引き継ぐところということだと思んですけども、そこにつきましては、やはりいろいろ検討、今後検討というか、事業者をまた選ぶような形にはなってしまうのかと思うんですが、次点で繰り上げというのはなかなか、そもそも提案が変わっちゃっていますので、そういうのは難しいかと思しますので。金銭保証はその保険でされるので、また新たに事業を組み直しというか、継続の事業みたいなことではあると思んですけども、そういった部分で、設計が終わって施工なのか、設計の途中なのかによって状況が変わるかと思

うんですが、その都度しっかり対応していきたいと思います。

○上野尚徳委員長 栗原委員。

○栗原恵子委員 ありがとうございます。

先ほどは途中経過のことをお話しして、万が一その会社がなくなった場合のお話をしましたが、では仮に全て全部建物が、庁舎が建ちました。その後、万が一会社が潰れてなくなっちゃった場合の庁舎に対してのアフターフォローは、今度はどうなるのでしょうか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 アフターフォローとか、多分ランニングコストのお話ですと、例えば町内事業者、結局メンテナンス自体は、大きく大規模修繕とかになるとまた違うかと思うんですが、維持管理の範囲内の修繕とかですと多分町内事業者にお願いするというのが1つ、町内事業者の育成というのもあるんです……。

○上野尚徳委員長 瑕疵工事の話ではなくて。メンテナンスではなくて、瑕疵工事で、要はその負担がまだ責任があるのではないかという意味で、誰が責任を1年なり10年なりという意味だと思います。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 一応これ要求水準書の中の部分で、施工者は引き渡し6か月、1年、2年後に点検を行うと条件を出しています。それ以降は町内事業者等にお願いすることになるかと思うんですが、その2年までの間に例えば事業者が破綻してしまったとか履行能力がなくなっちゃった場合については、その都度検討というか……

○上野尚徳委員長 事業継承会社の話で……。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 事業継承会社を例えばいきなりもう破産とって事業が全くできなくなっちゃうかという、民事再生法だったり会社更生法とかということですが、業務は縮小しつつもというような部分もあるかと思いますので、その部分を見ながら、新しい会社、メンテナンス会社を探すというももとの施主側の近いところの業務を請け負う、継続するような会社というのも当然あり得るかとは思いますが、そういった部分をどちらか、どちらが有利か、契約上どうなのかという部分も含めて検討をしていくことになるかと思います。

○上野尚徳委員長 栗原委員。

○栗原恵子委員 ありがとうございます。

万が一の話をしたまでなんですが、そういった危機感を持ってきちっとした形で進めていただければなと思います。

あと1点ですが、参考資料で外観パースを見させていただいて、これ4階建てというお話でしたが、屋上は、こちらは見渡せるような形になっているのでしょうか。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 お渡ししたこのパースと図面ですと分かりづらいんですけども、パース図の3枚イメージの絵がありますが、その左下の部分の天井に黄色というか、茶色いものがぽこっと出ているのがあるかと思うんですが、こちらがエレベーター塔みたいになっていまして、屋上にエレベーターで上がって、その周辺がガラスの囲いみたいな感じに、イメージではそうなっていまして、そこで展望、ご覧いただけるような構成、構造になっております。

○上野尚徳委員長 栗原委員。

○栗原恵子委員 展望できるような構造になっているということありがとうございます。

以上です。

○上野尚徳委員長 ほかにございませんか。

五味委員。

○五味雅美委員 今、栗原委員から質問が出た倒産した場合の事業破綻した場合の損害という話ですけども、これ建築の場合に必ずあり得る懸念事項でして、それから、出来上がった後の瑕疵担保、そういったものは建築会社が本来保険に入る責任というか義務というかあるはずなので、これ契約の中でそういったものがちゃんと網羅されているかどうか見ていく必要があると思うんですね。その辺どう考えていらっしゃるか。

○上野尚徳委員長 企画総務統括監。

○秋山雄一企画総務統括監 今、委員の皆様からいろいろご心配の部分、ご意見いただきました。もちろん契約のとき、もしものことがあったらということ、施工中にもしものことがあったら、施工後にもしものことがあったらということを改めて事務局の中で整理をして、もちろん契約時に何かあったらというのをまず気にしなくちゃいけないんですけども、施工中、施工後も、委員の皆様のご心配もございましたので、破綻の仕方もいろいろあるかと思いますが、この場合はこういう手法、この場合はこういう手法ということを一覧的に事務局では、今整理がついていないだけで、各項目では考えてはいるところなんですけど、すぐ出てこなくて申し訳ありませんが、その施工前、施工中、施工後に何かあったときの整理は改めてよくしたいと思います。

以上でございます。

○上野尚徳委員長 よろしいですか。

五味委員。

○五味雅美委員 いずれにしても業者の責任に関わる部分なので、きちんと見ていただきたいと思います。

以上です。

○上野尚徳委員長 藤原委員。

○藤原義春委員 今質問の過程で思ったんですけども、2点ありまして、まず教えてほしいのが、一応原則このパースだと4階建てということで予定されているのかということと、あと、屋上が、普通、今の時代だと、展望するときにガラス越しに展望できるような施設は多くあるんですけども、このままだと何か危険に対する防止という意味で、例えばもっと動くエリアを限った感じで柵があったほうが安全ではないかなと思ったりしたんですが、その辺の懸念についてお答え願います。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 まず、階層は4階建てになります。

こちらの展望スペースにつきましては、現状薄っすら人が、パース図の左下の絵ですとガラスで人が見えているような感じではあるのですが、これから基本設計の中で設計を詰めていくことになるんですけども、その中で当然安全管理とメンテナンスとか、そういった部分も含めて町側と事業者が協議した形で最もいい方法で設計を進めていきたいと考えておりますので、そちらで検討させていただきます。

○上野尚徳委員長 藤原委員。

○藤原義春委員 決まった業者との打合せである程度困ったりして安全性を保つと考えてよろしいわけですね。

以上です。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。よろしいですか。

[発言する人なし]

○上野尚徳委員長 ほかに発言がございませんので、公開プレゼンテーション及び優先交渉権者の選定についての質問は終わります。

続いて、その他に移ります。

そのほか何かございますか。

[発言する人なし]

○上野尚徳委員長 それでは、次に次回の日程について協議したいと思います。

原則、定例会の初日に開催することとなっておりますので、次回の開催は12月定例会の初日に開催するという事なんですけれども、そのほか必要なタイミングで執行部からまた、こちら側からも何かあるようでしたら随時開催したいと思います。そういったことでよろしいでしょうか。

五味委員。

○五味雅美委員 議案が出た段階では考える必要ないですか。

○上野尚徳委員長 そういった意味で随時と申し上げました。今の段階でまだ出てきていないんですけれども、議案が出てきたタイミングでは開催したいと思っております。そういう認識で執行部もよろしいですね。

先ほどの予定表の中での9月頭で、この予定表を見る限りだと、間にもう1回開催する。本会議中に出てくれば本会議中にどこか時間をつくって委員会を開催したいと思っております。そういったことでよろしいでしょうか。

副委員長。

○青木久男副委員長 げげんな顔しているんですけれども、了解ですか。そんなの聞いていないよって……。

○上野尚徳委員長 DX推進・新庁舎整備室長。

○瀬口悦史DX推進・新庁舎整備室長 すみません。議案の件は不確定なところで大変申し訳なく思っておりますが、契約交渉等も含めまして、はっきり申し上げられなくて大変申し訳ないところがございますが、事務局から鋭意なるべく早くお話しできるような形で進めておりますので、何とぞすみません。ご了承いただければと思います。

○上野尚徳委員長 青木副委員長。

○青木久男副委員長 前にこの当委員会を開いて、それで十分説明を受ける審議をして、それで議案として上程するという理解で、遅くとも今議会中であるという感触を持っているんですけれども、恐らくそういう希望でよろしいのか、あるいは、もう言っちゃってもいいんだと思うんですけれどもね。例えば12月になっちゃうのか、あるいは10月、11月頃に臨時議会でというようなこともあるのかな、まさか専決処分というわけにいかないの。そこら辺、簡単に委員長、我々にも知らせておいてもらいたいんですけれども。

○上野尚徳委員長 企画総務統括監。

○秋山雄一企画総務統括監 今、副委員長からいろいろお話がありました。私どもも、今まで



この委員会に今後のスケジュールということでご案内していたかと思しますので、私どもの予定としましては、今議会中に追加議案で出せたらなという準備をしております。ただ、ご理解いただきたいのは、契約ですから相手があるということで、私どもだけの都合ですぐあしたいですよ、あさっていいですよというのは言えないものですから、執行部側の目標としては9月議会に、委員方には大変恐縮ですが、もう一度この委員会でご説明させていただきたいという意向で進んでおりますということしか言えないです。以上でございます。

○上野尚徳委員長 ほかにありますか。大丈夫ですか。

〔発言する人なし〕

○上野尚徳委員長 なければ、ここで執行部の退席をお願いいたします。

暫時休憩します。

休憩 午後 3時39分

再開 午後 3時40分

○上野尚徳委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

以上で本日予定されていた内容は全て終了しました。

閉会の前に、副委員長より挨拶をお願いします。

○青木久男副委員長 朝の9時から始まって、今の委員会が恐らく最終で、今3時40分です。

大変長い間お疲れでございましたけれども、いろんな質疑ありがとうございました。

○上野尚徳委員長 以上をもちまして閉会いたします。

お疲れさまでした。

閉会 午後 3時40分